

Oguu

2014 Vol.7

特集：小国から未来を考える

Oguni Senior High School



2014 Vol. 7

～小国から未来を考える～

目次 「O g u u」 とは P 1

特集 1 世界へ羽ばたく 平野歩夢くん P 2

高橋恒行さんへ インタビュー

特集 2 夢と希望にあふれる 小国小学校訪問 P 3

特集 3 未来のエネルギー ペレットストーブ 小国グリーンエナジー合同会社訪問 P 4

特集 4 ちょっと一休み 片洞門休憩所「たんぽぽカフェ」 P 5

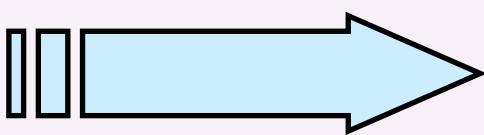
先輩インタビュー！/表紙紹介/編集後記 P 6

「Oguu」とは

小国高校生が地域の情報を発信する情報誌です。今年で第7号の発刊を迎えました！今回のテーマは「小国から未来を考える」です。ソチオリンピックのスノーボード競技で見事銀メダルを獲得した平野歩夢くんについての特集をはじめ、新しく建設された小国小学校の設備や、灯油を使わずに木材を加工して作ったペレットを燃料としたストーブなど、未来へ繋がる小国町の魅力をご紹介します！



小国町の魅力はたくさんあります！！



Back Number

1



2



3



4



5



6



* <http://www.town.oguni.yamagata.jp> より

世界へ羽ばたく♡平野歩夢くん

歩夢くんは冬期間、朝早くからお客様のためにゲレンデやハーフパイプの細かな整備を行います。滑りやすさなどを日々考えておられ、一度のずれでもわかるくらいの確かな技術をもっています。



▲歩夢くんの練習風景

高橋さんは冬期間、朝早くからお客様のためにゲレンデやハーフパイプの細かな整備を行います。滑りやすさなどを日々考えておられ、一度のずれでもわかるくらいの確かな技術をもっています。

オリンピックのスノーボード競技で銀メダルを獲得した平野夢くんを幼い頃から知っている横根スキー場にお勤めの高橋恒行さんにお話を伺いました。

インタビュー

高橋恒行さんへ



▲オリンピック前に来町

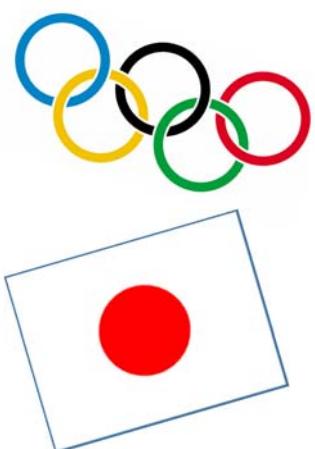
オリンピックまでの道

歩夢くんは三歳の頃からお父さんが経営しているスケートパークでスケートボードを始め、四歳の頃から横根スキーキー場で練習をしていました。負けず嫌いな性格で、一度滑り始めると休みなく練習を続け、手袋が汗と雪とで絞られるほどになるまで努力していたそうです。小学三年生頃から「世界チャンピオンになる!」と言っていたそうですね。このような努力が実を結び、オリンピックでは、多くの人々に感動を与える滑りを見せてくれました。

取材をしてみて



▲横根スキー場にて



~4年後の金メダル~

ガンバレ歩夢くん



夢と希望にあふれる

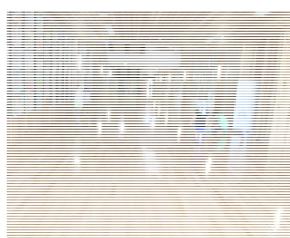
♥ 小国小学校訪問 ♥

A	・螢、水、空気がきれい。
Q	・自然がたくさんある。
A	・小国町の魅力
Q	・廊下や階段が広くなつた。
A	・スノーボーダー、作曲家、学校の先生など
Q	・将来の夢
A	・フルーツポンチ
Q	・ビーフストロガノフ
A	・人気の給食メニュー
Q	・涼しく快適。
A	・可動式黒板。背の低い小学生でも簡単に書ける。
Q	・体育館の床暖房。とても暖かい。
A	・風通しが良い構造。
Q	・涼しく快適。
A	・新校舎について
Q	・きれい。使いやすい。楽しい。
A	・便利になつたこと



小国小学校が新校舎になりました。運営委員会の皆さんと先生にインタビューし、普段どのように感じているか、好きな給食や将来の夢などお聞きしたものをQ & A方式でまとめました。

明るく機能的な ECO STYLE



↑エコボイド

(自然採光通用換気)

↑メディアルーム

地元の木材をふんだんに使用

↑ゆったりとした広い廊下や階段

新設備！ 自然エネルギーの有効活用！

1. 木質チップボイラー
2. 太陽光発電

木質チップボイラーとは

木材片を燃やして地下から水蒸気を送り、各部屋にあるパネルから送風して室内を暖かくする設備。無散水消雪もできる。

太陽光発電とは

校舎の屋上に取り付けられた発電用のパネルで、電気が蓄えられる。生徒昇降口にある液晶モニターで蓄電量を見ることができる。

新校舎になり、小学生の皆さんはとても快適な学校生活を送っているようです。環境を考えた新設備なども加わり、小国町も進化を続けているのだなと実感しました。インタビューの際、小学生が思う「小国高生のイメージ」を聞いたところ、「挨拶がしっかりとしている、背が高い、足が速い、都会慣れしている…」などの他、ユニークな回答もありました。小国小学校の皆さんありがとうございました。

★★ 取材をしてみて ★★

未来のエネルギー ペレットストーブ 小国グリーンエナジー合同会社

Green Energy
For the Future !!



ペレットストーブ



ペレットストーブ自体は一台約十九万円と高価ですが、燃料となるペレットは灯油に比較すると、一キログラム五十五円と低価格です。また、一台備えれば十五ヶ月、ほぼ家を丸ごと温められます。何よりも環境に優しいということが注目されており、近年、購入する人が増えているそうです。

こちらの会社では、ペレットストーブの販売、設置、メンテナンスなどをしています。七年前に高橋さんがペレットストーブに興味を持ったことがきっかけだったそうです。展示場は小国に一つ、米沢につあります。現在は九名で活動しています。

ペレットができるまで



小国グリーンエナジー合同会社の皆さんと一緒に



さらに現在、地球規模での様々な問題、温暖化、燃料・資源問題がありますが、まずは私たちにできることからはじめることで、これらの問題解決の一つの糸口になるのではないかでしょうか。

小国町の約九十七%が森林です。材木片や間伐材などを再利用し、恵まれた資源をよりよく活かすことができれば、さらに可能性は広がります。町全体に普及すれば、さらに環境に優しいだけではなく、町内の雇用が増えます。若者の働く場所ができれば、人口減少にも歯止めがかかります。経済的にも町の中でお金が循環するなど、町の未来につながる可能性を感じました。

**未来のエコエネルギー
自然との共生・循環社会**

ちょっと一休み 片洞門休憩所「たんぽぽカフェ」



・たんぽぽカフェ・

右の写真が人気メニューの日替わりランチです。さくらんぼを除いて全て小国産の食材で作られています。メニューは毎日、その日に決めるそうです。全ての料理において食材の味を生かしたものになっていました。特に「しおでのおひたし」がおすすめです。また「たかきびドッグ」や「たかきびソフト」も人気のメニューです。

みなさんも是非一度食べてみてはいかがですか？

人気メニュー

△たかきびごはん
△くなす味噌のせ△
△わらびとしいたけの味噌汁△
△じあごのおひたし△
△みずの煮物△
△みずの漬物△
△たかきびドッグ(ちより味見)△
△山菜も野菜もすべて△
△「小国町産」だよ!!△



・日替わりランチ・



・たかきびソフト・



岩沢さんから小国高校生へ

今の中学生は、たくさんの分野で頑張っています。今のみんなの頑張りが、後の生徒の頑張りにもつながるので、今をしっかり頑張ってほしいです。今の努力が自分の将来、小国の未来につながるはずです。

小国には他に負けない良さや魅力があります。故郷を誇りに思い、これからも小国町民として活躍していくってほしいです。



先輩インタビュー

齋藤香穂さん

小国町役場 町民税務課

町民生活室 住民窓口担当

◇主な仕事◇

窓口での住民票、印鑑証
明、転出・転入、婚姻・
出生届受付。人口推移等

担当。



齋藤香穂さんは、今年の春、小国高校を卒業した私達の先輩です。高校時代には明確にやりたいと思う仕事がなかつたそうですね。しかし、高校二年生に実施したインターンシップがきっかけで、この仕事に就くことを目指すようになつたそうです。社会人として働くようになった時にやりがいを感じた時や感謝の言葉をいただいた時にやりがいを感じるそうです。

本校の美術の非常勤講師である後藤拓朗先生が描いてくださいました。

本誌の表紙は、山形DCのイベントを盛り上げるために、本校ライフクリエイト部が制作した作品の下絵です。完成した作品は、小国駅構内の壁面に取り付けられています。



表紙紹介

高校時代には、生徒会長として活躍されていました。みんなで学校をつくり上げていくことに魅力を感じ、一生懸命努力していたそうです。また、地域文化学でまとめたレポートが、第七回「地域の伝承文化に学ぶコンテスト」において最優秀賞に選ばれ、東京、國學院大學で行われた表彰式に参加したこともあるそうです。

「小国高校は少人数だからこそ、いろいろなことに挑戦できる。手をかけてもらえるのは嬉しいことだが、自分から取り組むことも大切にしてほしい。挑戦する精神を鍛え上げていってほしい。」と私たち小国高校生にメッセージをいただきました。

編集後記



今回、私たち地域文化学四班は、取材活動を通して「小国町が秘めた可能性」を知ることができました。

小国町に住んでいる私達には普通のことでも、改めて見直して見てみると、実は素晴らしいものがたくさんあります。私たち自身がまだ知らない誇れる部分がたくさんあると感じました。何と言つても小国町の一番の特徴は、町の約九十七%を占める森林です。つまり、再生可能なエネルギー資源がたくさん眠っているということです。エネルギー問題は日本だけでなく地球全体で取り組んでいかなければならない大きな問題です。今回、特集中で木質チップボイラーやペレットストーブなどを紹介しました。これらのエネルギー資源の活用が小国町の将来、そして地球の未来をよりよい方向に導いてくれることに期待します。

本誌を作るにあたり、小国町役場広報担当の伊藤拓也さんから雑誌の作り方について教えていただきました。伊藤さんからのご助言は本誌を作る上で大変参考になりました。取材にご協力いただいた皆様、本当にありがとうございました。



未来くの紫誠 from OGUNI



編集メンバーより

- 志田 航大（表紙担当）…………小国町の良さがわかる雑誌になったと思う。
- 佐藤 季歩（P1目次担当）…………小国の魅力をたくさん伝えられる内容になってよかったです。
- 小林 可奈（P2歩夢くん&高橋さん担当）
…………みんなで楽しみながら「小国町の未来」を考えることができた。
多くの人に「小国町の未来」を感じてもらえた嬉しく。
- 高橋 亜美（P3小学校担当）…………取材を通して、小国町の新たな魅力を再発見することができた。
小国町は進化し続けていると実感した。
- 今野 輝（P4ペレット担当）…この学習で小国町の良いことがわかつたし、楽しかった♪
- 山口 湧矢（P5たんぽぽ担当）…各ページにそれぞれの個性が出ている。
- 磯部 友里（P6先輩インタビュー・表紙紹介・編集後記担当）
…………小国町の新たな魅力を知ることができた。
- 梅津 光（裏表紙担当）……今まで知らなかつた町のことをたくさん知ることができた。